

# たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより  
第26号 令和2年10月19日(月)  
たきおっ子の生活信条：  
「たのしく、きたえて、おおらかに」  
学級数7、在籍児童数：55名  
文責：(校長) 河地浩太郎

## 心に響く管弦楽の音色

～文化芸術体験事業「京都フィルハーモニー室内管弦楽団」演奏会～



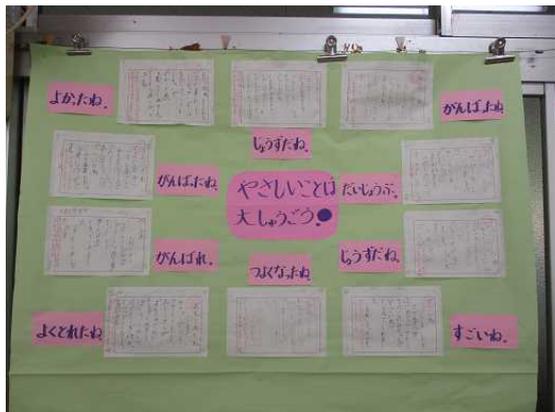
運動会の余韻がまだ少し残っている今週の火曜日に、標記体験事業を体育館で実施しました。総勢18人(演奏者14人・スタッフ4人)がはるばる京都からやってきてくれました。演奏会の様子は、子どもさんを通じてお聞きになられたと思います。京都フィルは、創立48年の歴史ある楽団で、弦楽器、管楽器、打楽器で構成されています。体育館半分近くのスペースから、クラシックの迫力ある音色が響き渡りました。鑑賞は、ほとんどの児童が初めてのようでしたが、生の楽曲に感動していました。また、歌「翼をください」と「校歌」を一緒に歌え、記憶に残る演奏会となりました。

## 自己表現力を伸ばす(その7)「秋を感じるものをことばで表す(2年生)」

右の写真は、2年生が国語科で身の回りにある「秋を感じるもの」について、色や形をヒントにクイズを作成しそれをお互いに出し合うという授業の様子です。最初に、先生がヒントの書き方を示し、それを基に各自がクイズのヒントを考えていくという学習です。「いちょう」「どんぐり」「ねこじゃらし」など、いろいろ考えていました。学習後の感想では、「クイズを作って楽しかった」と答えている児童が多かったです。私たちは、五感(味覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚)を働かせて、物事の状態を感じ取ります。それをどう言葉で表現しているか、このような学習がその土台になります。



## ことばの遣い方を考える



上の写真は、2年生の教室に掲示してある「やさしいことば大しゅうごう」という掲示物です。「がんばれ」「しょうずだね」「よかったね」など心温まる言葉と、それをどんな時に言われたのが書いてあります。読んでいるこちら心も温かくなります。

しかし、最近、相手の気持ちを考えない(人を傷つける)言葉遣いが聞かれます。子どもの言葉遣いは、大人やマスコミ等の影響を大きく受ける部分もあると思います。私たち大人が、人のことを思いやる優しい言葉遣いを教えていきたいものです。

## 「ていねい」は、やさしさの第一歩

9月は、「ていねいな名人さん」ということで、物事を丁寧にやっている児童15名に認定証を手渡しました。物事を丁寧にすることは、失敗も少なくなるし、優しい言動への第一歩だと思います。今後も継続してほしいと願います。

※( )内は、どんなことを丁寧にしているという推薦理由です。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1年甲 斐桂士さん(文字) | 3年溜 結菜さん(文字)  |
| 2年角谷 竜弥さん(文字) | 4年藤岡 凌雅さん(文字) |
| 地部 瑚乃実さん      | 5年岩山 智春さん     |
| (くつ・スリッパ並べ)   | (絵・文字・裁縫)     |
| 千代島 優さん       | 福島 美織さん(文字)   |
| (くつ・スリッパ並べ)   | 藤川 優依さん(言葉)   |
| 3年福島 紫織さん(文字) | 山田 結心さん(文字)   |
| 4年遠藤 百華さん(文字) | 6年作田 唯海さん(文字) |
| 川端 希歩さん(言葉)   | 藤田 もえさん(言葉)   |

## 佐藤先生ありがとうございました

別紙プリントでもお知らせしましたが、複式学級指導員の佐藤公一郎先生が、先週をもって病氣療養のため退職されることになりました。7か月間お世話になりました。子どもたちをとっても可愛がってもらい、残念でなりません。少しでも早くよくなりますよう願っています。